

# キャンプファイアー・キャンドルサービス

- 1 ねらい ○火を囲んで歌ったりゲームをしたりして楽しみ、仲間との親睦を図るとともに互いの絆を深める。  
○暗闇と静寂の中で、火を見つめながら活動を振り返り、思い出を分かち合う。
- 2 活動場所 キャンプファイアー（野外）…… くりの木ファイアー場、まつかさファイアー場  
※3団体以上の場合は松岡公園で行う場合もあります。  
キャンドルサービス（屋内）…… チャレンジ広場、どろんこ広場 等
- 3 所要時間 1～1.5時間程度
- 4 対象 希望される団体全て
- 5 実際の活動

## 《 キャンプファイアー 》

### ①ボンファイアー

大きな火を囲んで歌や踊り、ゲームなどのプログラムで大いに楽しもうとするもの。

### ②カウンスルファイアー

厳粛な雰囲気の中でキャンプの心構えや決意を火に誓おうとするもの。

### ③グループファイアー

形式にこだわらず少人数でたき火を囲みながら語らいを中心として進めるもの。

## 《 キャンドルサービス 》

ローソクの炎を一人ひとりに点火し、自分の決意や思いを炎に込めて語り合うセレモニー。ボンファイアー的要素を取り入れ、ゲームなどのプログラムで楽しんでもよい。

## 6 準備物

自然の家から提供できる物 【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○キャンプファイアー用薪（要事前申込） 【薪置き場】	●歌やダンスのCDなど（必要な場合）
○「営火長」「火の巫女」の衣装と冠 【事務室前の棚】	
○トーチ棒セット（要事前申込） 【事務室前の棚】	
○マッチ、なた、新聞紙など 【事務室前の棚】	
○CDラジカセ、ワイヤレスアンプ 【事務室前の棚】	
○一輪車、スコップ 【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	

## 7 指導上の留意点

- ◆近年、環境問題に配慮し、ボンファイアーを自粛する団体が増えてきました。キャンプファイアーの意義や活動プログラム上の位置づけを確認し、どのようなタイプのキャンプファイアーが適切かをよくお考えのうえ取り組んでください。
- ◆火の取り扱いには充分気をつけ、担当者が責任をもって火の管理をしてください。なお、キャンプファイアーの場合は、燃え残りが出ないように、炎がおき火になるまで担当者が火のそばに付いて管理してください。
- ◆灰については、翌日の朝、完全に灰になった状態を確認後、くりの木ファイアー場わきの「灰捨て場」に利用団体で片付けてください。
- ◆「炎が大きすぎた」「飛び火した」等の非常時に備えて、水道・ホースの位置を明るいうちに確認しておいてください。
- ◆マイク・拡声器等を使用する際の大音量や奇声を上げるなど、他の団体に迷惑にならないようにご留意ください。

## キャンドルサービス展開例 ※静かな雰囲気の中で団体の親睦を深めるための展開例

展 開	担 当	内 容 な ど
①入 場		○『遠き山に日は落ちて』を静かに歌いながらキャンドルマスターを先頭に一列になって入場する。円形に集合し、ハミングしながら待機する。
②キャンドル入場	キャンドルキャリアー	○円形に集合している参加者の内側をゆっくりと一周する。キャンドルマスターの前に来たらローソクを渡す。
②はじめのことは	エールマスター	「今日一日、私たちの活動を明るく照らしてくれた太陽も、西のかなたへと沈んでいきました。今日一日を振り返りながら、私たちがより一層親睦を深めることができるようにキャンドルサービスを始めます。」
③点 火	キャンドルマスター	キャンドルマスターは両隣に点火し、次々に火を移していくようにする。点火されている間に火の話をします。 例「私たちには全ての心に灯し火があります。私の目の前に輝く小さな炎は、暗闇で光を放ちながら、自らの進む道を照らし、私たちに目的を持ちなさいとっています。火は暖かく燃えながら、周囲の人々に対し明るく温かい人間になりなさいとっています。そしてこの火はわが身を焼き尽しながら互いに協力し助け合って生きることの大切さを教えてくれます。みんなの心の灯し火にも、みんなの手にしたローソクの炎は何かを語りかけているのです。」
④ふりかえり	エールマスター	○一日の出来事をゆっくりとプログラムに従って話していき、参加者同士の関わりを思い出させていく。 「これからみなさんにも今日を振り返って、感じたことや思ったことを一言ずつ話してもらいます。話した人から自分の火を消していきましょう。」
⑤誓いのことは	キャンドルマスター	○最後にキャンドルマスターの火だけが残ったら、まとめの話をします。 例「ここに集まったみなさんによって、すばらしい集いとなりました。そしてこの思い出は、ローソクの炎のようにいつまでも輝きながら心に残ることでしょう。火はこの一つだけになりましたが、心の灯し火で結び合った私たちの友情の輪は、さっきの火の輪よりも、心の中でもっと輝き続けていることでしょう。」
⑥退 場	エールマスター	○『今日の日はさようなら』を歌う。2番からハミングし、キャンドルマスターを先頭にして静かに退場する。

### <役割分担>

- ・エールマスター 司会進行役（1～3名）
- ・キャンドルマスター 各団体の代表者（1名）
- ・キャンドルキャリアー 火の点火役（2～3名）
- ・ファイアーキーパー 火の管理（大人数名）

### キャンドルサービスのポイント！

キャンドルサービスは、静かに一日を振り返ったり、仲間との心の触れ合いを深めたりすることに効果があります。そこで、静かな落ち着いた雰囲気の中で進めていくことが大切となります。また、キャンプファイヤーの雨天時案として行う場合は、大きな燭台を使用して三部構成で展開することもあります。キャンドルサービスの意義をどう捉えるかによって大きく展開も変わってきます。